

京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会 (第11回)

平成28年9月23日
京都府スポーツ施設整備課

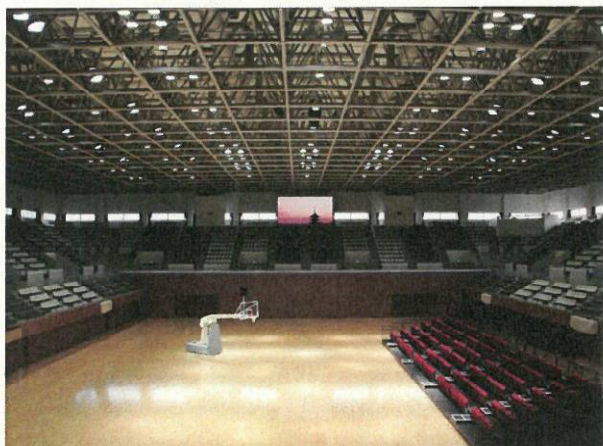
京都府スポーツ施設整備予算の推移

(単位:百万円)

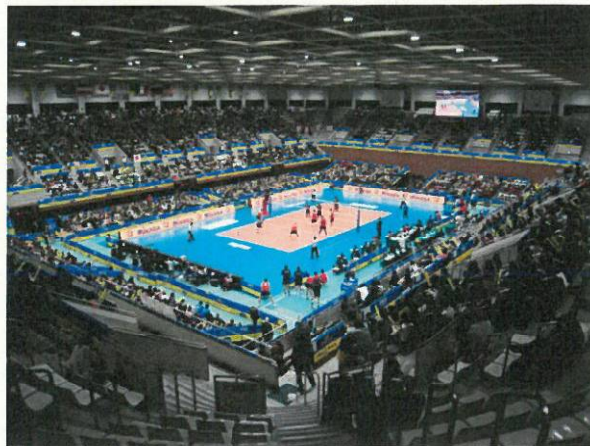
| 実施年度 | 予算額 ※ | 主な整備内容 |
|------|-------|---|
| 24 | 1,613 | 府立体育館 運動公園全体 専用球技場 ・リニューアル工事 1,592 ・府立運動公園再整備構想策定 4 ・基本構想策定等調査 17 |
| 25 | 944 | 府立体育館 丹波 山城 専用球技場 広域的スポーツ施設充実支援 ・リニューアル工事 40 (㉔㉕計 1,632) ・京都トレーニングセンター(仮称)及び宿泊棟(合築)新築 689 ・テニスコート夜間照明(4面) 18 ・補助競技場夜間照明 54 ・弓道場新築 48 ・陸上競技場スタンド屋根設計 18 ・測量 土質等調査 72 ・京都市 5 |
| 26 | 1,252 | 丹波 山城 専用球技場 広域的スポーツ施設充実支援 ・京都トレーニングセンター(仮称)及び宿泊棟(合築)新築 360 ・陸上競技場正面スタンド全面屋根(1800席)新築 294 ・陸上競技場夜間照明 86 ・テニスコート屋根(4面)新築 302 } <うち、㉗へ繰越 362> ・クラブハウス新築・改修 74 ・環境保全専門家会議開催、地下水脈調査 12 ・基本設計 100 (6月補正) ・京都市 24 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> いずれも基本設計 西京極:陸上競技場観覧席屋根等 10.5 横大路:硬式野球場等(防災備蓄倉庫等、広域防災拠点機能の付加含む) 13.5 </div> |
| 27 | 1,496 | 丹波 専用球技場 広域的スポーツ施設充実支援 ・京都トレーニングセンター(仮称)及び宿泊棟(合築)新築 1,095 (㉕~㉗計 2,144)(GND含総予算額 2,173) <うち、㉘へ繰越195> ・陸上競技場第2種公認化整備 96 <うち、㉘へ繰越 90> ・環境保全専門家会議開催、地下水脈調査 12 ・実施設計 200 (6月補正)<㉘へ繰越> (・建設工事 債務負担行為㉙㉚ 15,400)(6月補正) ・京都市 85 (西京極:陸上競技場大型映像装置・新メインゲート設置) <うち、㉘へ繰越 横大路6> ・福知山市 8 (三段池:テニスコート砂入り人工芝化4面) |

※ ㉔㉕補正分は主たる実施年度に計上

府立体育館のリニューアル



平成25年6月リニューアルオープン



25年11月19・20日
ワールドグランドチャンピオンズカップ2013 男子バレーボール
(22年ぶりの公式国際大会)

2

京都トレーニングセンター構想

～丹波自然運動公園スポーツ施設改修整備計画～

【整備の方向】

～ジュニアアスリートの(中高生)の育成拠点を目指して～

○ジュニアアスリートの体力、競技力の向上を図るとともに、選手間、指導者間の交流を促進し、ジュニアアスリートの絆づくりに貢献する拠点

○関係機関や大学等との連携により、ジュニアアスリートの安心・安全なトレーニング環境づくりや指導力向上に貢献する拠点

○災害時には防災拠点としても活用

3

【整備のポイント】

①ワンストップのトレーニング環境の整備

・フィジカルトレーニング機能、指導機能、相談機能、交流機能等と宿泊を同一施設に一体化し、ワンストップの環境を整備

②機能的なトレーニング環境の整備

・自然を生かし、誰もが安全・安心にトレーニングできる環境の整備
 ・夜間や雨天時に対応できる多様な練習環境の整備

③専門的なトレーニング環境の整備

・京都府スポーツセンターとの連携
 ・フィジカルだけでなく、メンタル、コンディショニング(ボディケア)まできめ細かいトレーニング指導体制の充実

④防災拠点としての活用

・丹波自然運動公園は、府北中部の広域防災活動拠点に位置づけられており、大規模災害時の拠点として活用

4



5

京都トレーニングセンター

(平成28年6月竣工)

宿泊棟・トレーニング棟



ウエイトトレーニングルーム



陸上競技場

(平成29年3月第2種公認予定)

トラック全面の切削
オーバーレイ等完了

器具庫設置工事、
備品購入等実施中



6

京都スポーツヒル構想

～山城総合運動公園スポーツ施設改修整備計画～

【整備の方向】

～幅広い府民のスポーツ活動拠点を目指して～

○競技スポーツ+日帰りで、手軽にスポーツに親しめる拠点

○災害時には防災拠点としても活用

7

【整備のポイント】

①スポーツに親しみやすい環境の整備

- ・誰もが利用しやすい環境の整備(機能の向上)
- ・誰もが快適に利用できる環境の整備(アメニティの向上)

②安心・安全なスポーツ環境の整備

- ・誰もが安心して安全に利用できる施設(荒天時の避難場所等)

③新しいスポーツニーズへの対応

- ・国体競技でありながら府南部に練習施設のないもの
- ・府民ニーズに対応する新たな施設

④防災拠点としての活用

- ・山城総合運動公園は、府南部の広域防災活動拠点に位置づけられており、大規模災害時の拠点として活用

8



9

弓道場

(平成26年4月竣工)

的場



射場



陸上競技場

(平成27年4月竣工)

スタンド屋根



夜間照明



10

クラブハウス

(平成27年11月竣工)

新築



改修



テニスコート

(平成27年11月竣工)

屋根



11

市町村支援状況

●市町村の広域・基幹的なスポーツ施設の機能向上を図るため、平成25年度から『広域的スポーツ施設充実支援事業』を実施

【支援実績】

○京都市

・西京極総合運動公園：陸上競技場大型映像装置更新、メインゲート設置、諸室・トイレ充実

○福知山市

・三段池公園：テニスコート改修

○大山崎町

・体育館：空調照明設備設置・諸室充実



京都スタジアム(仮称)について

◆「亀岡市」に建設予定地を選定(H24. 12月末)

- ・用地調査委員会において、最も多くの委員が評価
- ・大量輸送が可能、初期投資が安価、府内の最も広い範囲から子供達が、公共交通機関を利用して試合観戦が可能な場所



◆環境保全専門家会議を設置(H25. 5月)

- ◆H25～H27 アユモドキの生息実態調査や実証実験の実施

◆環境保全専門家会議 座長提言(4月27日)

- ・建設は可能だが、調査を終えるのに3年程度の時間がかかるとして、影響が軽微を言える「亀岡駅北土地区画整理事業地」に建設場所を変更するよう提言

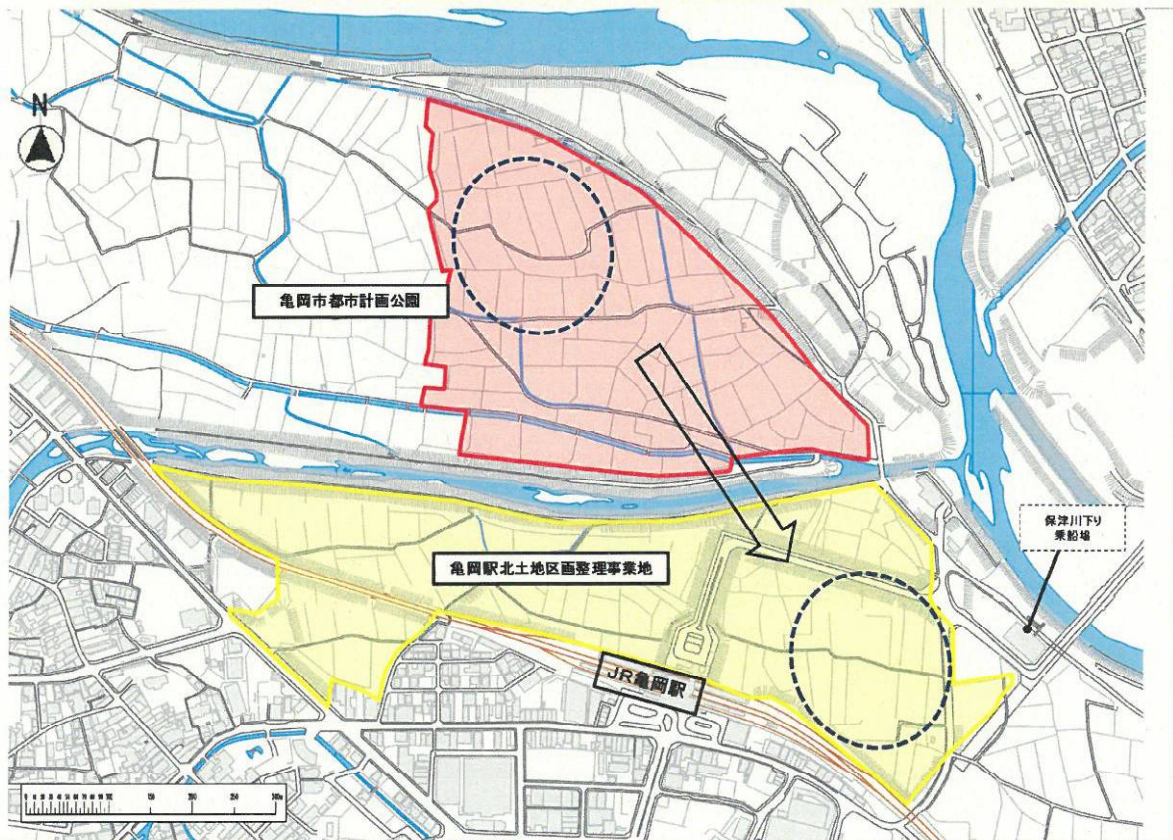


◆府・市提言受入表明(8月24日)

- ・①地元理解、②財政フレーム、③アユモドキ保全への国等の協力の3条件が整ったことから、提言を受け入れ、建設予定地をJR亀岡駅北側の土地区画整理事業地に変更し、スタジアム整備すすめることを表明

13

京都スタジアム(仮称)建設場所の変更



14



15

京都スタジアム(仮称)について

◆今後の予定

○設計 9月 着手(委託業者公募開始)

○工事着手 H29年度

○完成 H31年度

16

通年型アイススケート場の整備要望の概要等

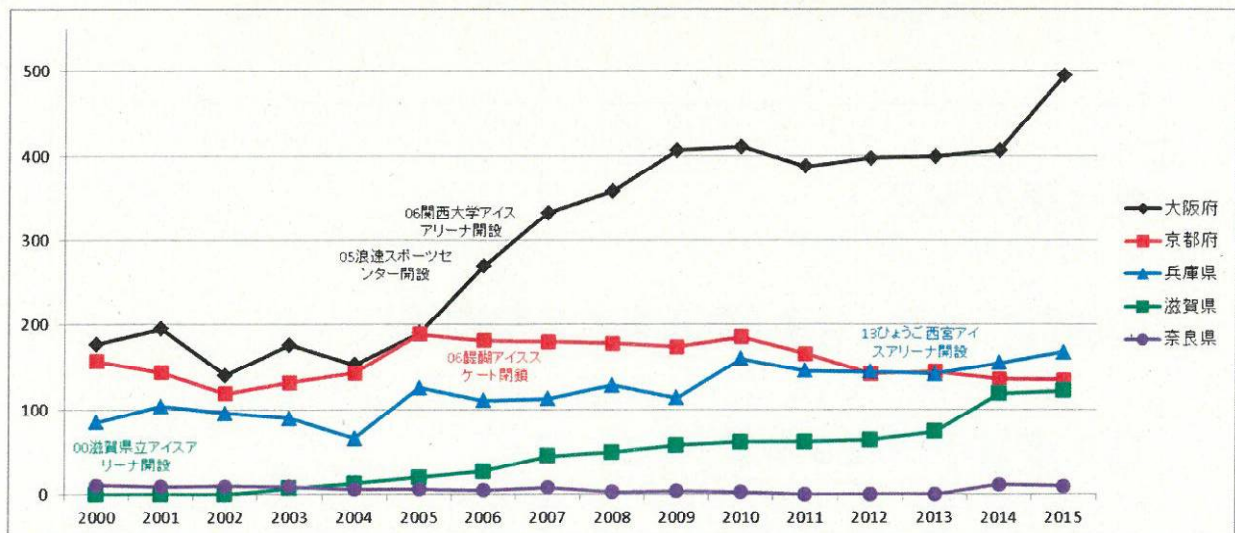
- 1980年代から1990年代の冬季国体においては、スケートの種目別総合成績で通算12回の入賞を果たす強豪として活躍
- 通年型アイススケート場「醍醐スケートリンク」が府のスケート振興に非常に大きな役割を果たしていたが、2005年に閉鎖
- 選手達は夏期の練習場所を確保するため、大阪府や滋賀県、遠くは岡山県まで遠征
- 2016年2月に大阪府柏原市、2017年3月に大阪府守口市の通年型アイススケート場が閉鎖
- 今後ますます、練習場所や競技会の開催が困難な事態
- 京都在住の有望な選手が他府県に一部流出



● 通年型アイススケート場を府立山城総合運動公園に整備していただきたい

17

近畿のスケート選手数の推移



個人ホームページ(http://www.geocities.jp/cxb00463/Club_member.html)のデータを元に作成

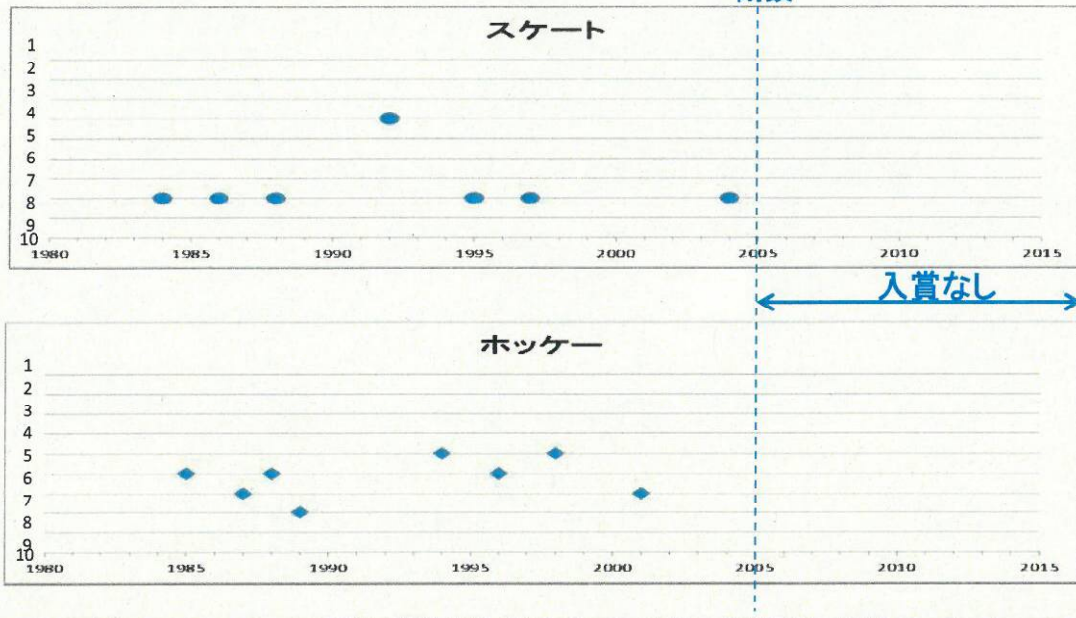
- 通年型アイススケート場がある3府県は選手数が増加
- 京都府は選手数が減少

18

府民スポーツ、競技スポーツとしてのスケートを取り巻く環境①

【国体入賞実績(順位) 1980～現在】

醍醐スケート
閉鎖



19

府民スポーツ、競技スポーツとしてのスケートを取り巻く環境②

京都府在住の日本スケート連盟指定選手

| | 特別強化選手 | 強化選手A | 強化選手B |
|---|----------------|-------|-------|
| ⑳ | 宮原 知子 本田 真凜 | 白岩 優奈 | 木原万莉子 |
| ㉑ | 宮原 知子 | 木原万莉子 | 本田 真凜 |
| ㉒ | 宮原 知子 | 木原万莉子 | 本田 真凜 |
| ㉓ | 宮原 知子 | | 本田 太一 |
| ㉔ | | | 本田 太一 |

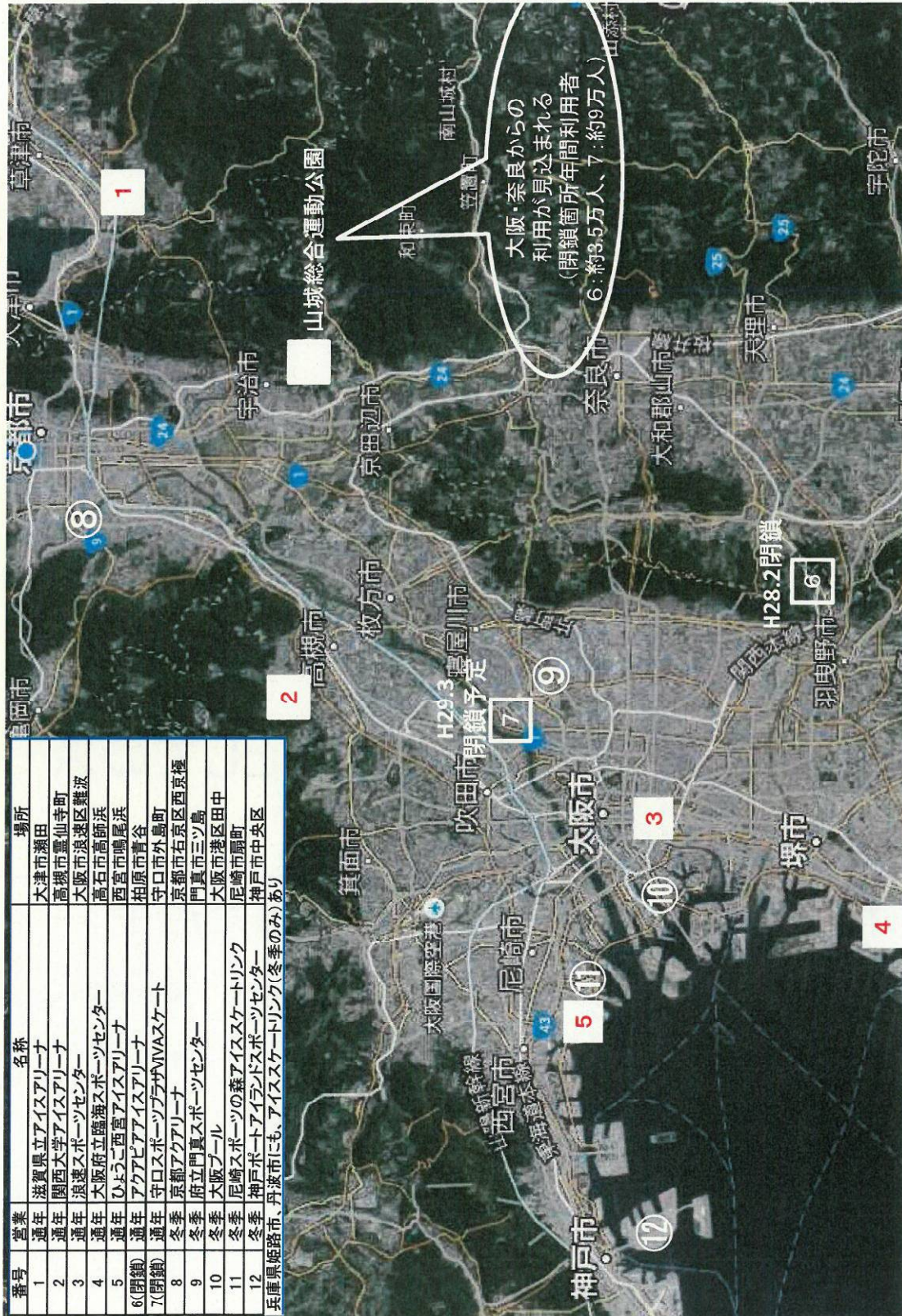
特別強化選手: 全日本選手権3位以内の選手 等
 強化選手A: 全日本選手権8位以内、全日本ジュニア3位以内の選手 等
 強化選手B: 全日本選手権12位以内、全日本ジュニア8位以内の選手 等

20

近畿のアイススケート場の状況

| 番号 | 営業 年次 | 名称 | 場所 |
|-------|----------|--------------------|-----------|
| 1 | 通年 | 滋賀県立アイスアリーナ | 大津市瀬田 |
| 2 | 通年 | 関西大学アイスアリーナ | 高槻市霊仙寺町 |
| 3 | 通年 | 浪速スポーツセンター | 大阪市浪速区難波 |
| 4 | 通年 | 大阪府立臨海スポーツセンター | 高石市高師浜 |
| 5 | 通年 | ひょうご西宮アイスアリーナ | 西宮市嶋尾浜 |
| 6(閉鎖) | 通年 | アクアピアアイスアリーナ | 柏原市青谷 |
| 7(閉鎖) | 通年 | 守口スポーツプラザVIVAスケート | 守口市外島町 |
| 8 | 冬季 | 京都アクアリーナ | 京都市右京区西京極 |
| 9 | 冬季 | 府立門真スポーツセンター | 門真市三ツ島 |
| 10 | 冬季 | 大阪プール | 大阪市港区田中 |
| 11 | 冬季 | 尼崎スポーツの森アイススケートリンク | 尼崎市扇町 |
| 12 | 冬季 | 神戸ポートアイランドスポーツセンター | 神戸市中央区 |

兵庫県姫路市・丹波市にも、アイススケートリンク(冬季のみ)あり



連盟の考え

- 施設建設において、民間資金の活用
- 維持管理において、民間ノウハウの活用



● 山城総合運動公園内の提供(借地)

22

民設民営の通年型アイススケート場の 都市公園内での整備事例



◆ 埼玉アイスアリーナ(平成26年11月オープン)

- ・ 通年利用可能な国際規格のリンク
- ・ 都市公園内に民設民営で整備(公園使用料免除)

※ 都市公園以外で「ひょうご西宮アイスアリーナ」(平成25年8月オープン)の事例あり



メインリンク
60m×30mのオリンピックサイズリンク



サブリンク
スケート教室やカーリングに利用可能な国際規格のリンク(45m×18m)リンク



エントランスホール
公園の緑をイメージしたエントランススペース



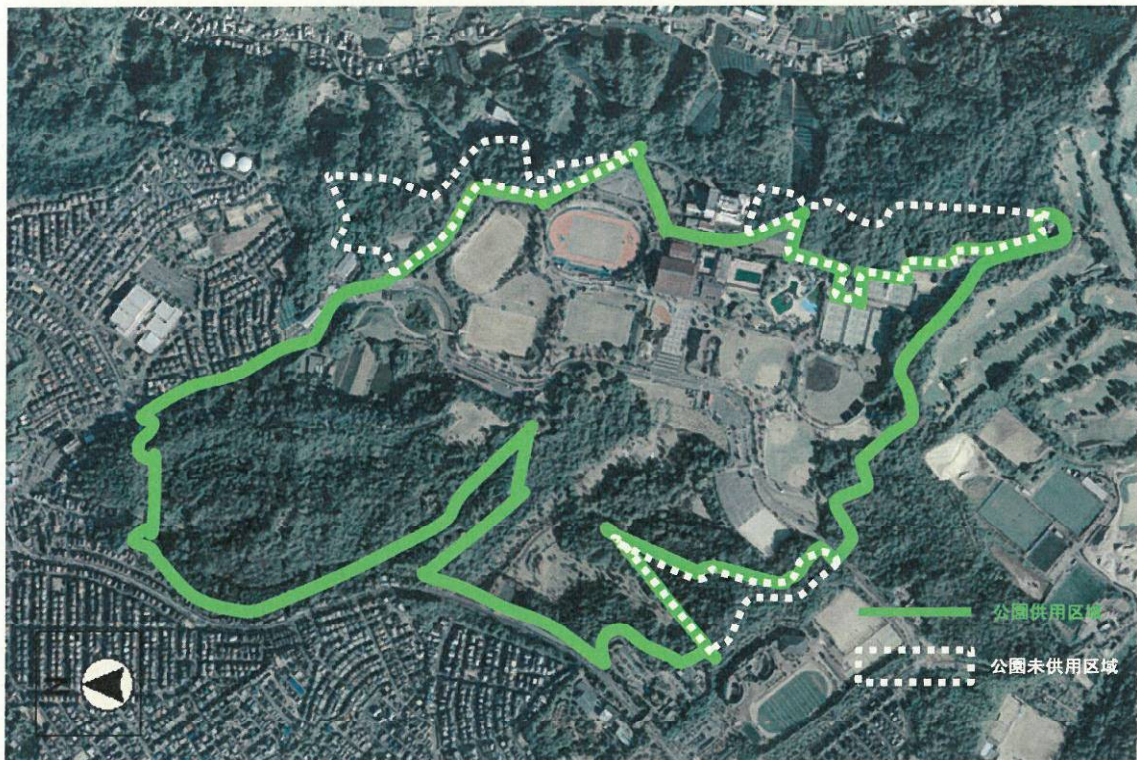
自動改札
自動改札機の設置により、省力化を実現



貸靴セルフロッカーエリア
スタッフを配置せず、利用者自身が貸靴を選定

23

山城総合運動公園の現状



24

公園での整備に関する制度

●民間による公園施設整備

- ・スケート場は都市公園法に規定する運動施設に該当
- ・公園管理者以外の者が設置することは可能
- ・公共の用に供する施設は、府条例により使用料の全部又は一部の免除が可能

※公園施設:①園路及び広場、②修景施設、③休養施設、④遊戯施設、⑤運動施設、⑥教養施設、⑦便益施設、⑧管理施設 他

25